

今後の議論の進め方について（案）

先般の調査結果や調査結果を踏まえた議論の論点も参照しつつ、施設種毎（放射光施設／中性子・ミュオン源施設／レーザー施設／イオンビーム施設／その他電子線施設等）及び施設運営主体毎（国／地方自治体／国立研究開発法人／大学・大学共同利用機関法人）に、以下の観点等について、「現状をどう捉えているか」「今後どうあるべきか」「その解決策・方法論は何か」といった議論を進めてはどうか。

（観点（例））

- 産学連携を含む利用者の確保や利用者への支援
- 施設の役割分担や施設相互の連携
- 海外施設・海外研究者との連携
- オープンデータ・オープンアクセスの取組
- 人材育成

こうした議論や有識者ヒアリング等を踏まえ、

- ◆量子ビーム施設全体の今後の整備計画やこれらの施設を活用した研究全体のポートフォリオ設計の在り方
- ◆各量子ビーム施設の運営主体に応じた国の支援の在り方
- ◆各量子ビーム施設における好事例の整理や横展開の方策

等について最終的に議論をとりまとめていくこととしてはどうか。

以上

(本日議論いただきたい論点)

- (1) 産学連携を含む利用者の確保や利用者への支援
- (2) 施設の役割分担や施設相互の連携
 - ・現状をどう捉えているか
 - ・今後どうあるべきか
 - ・その解決策・方法論は何か

(参考マトリクス)

施設種／運営 主体	国	地方自治体	国立研究開発 法人	大学・大学共 同利用機関法 人
放射光施設	SPring-8	・AichiSR ・SAGA-LS		・KEK PF、PF-AR ・分子研 UVSOR ・立命館大 SR センター ・兵庫県立大 NewSUBARU ・広大 HiSOR
中性子・ミュオン 施設	J-PARC MLF	・青森県量子科学センター ・いばらき iBNCT	・JAEA JRR-3 ・理研 RANS	・北大 HUNS ・東北大 CYRIC ・名大 NUANS ・京大 KUANS ・京大複合原子力科学研究所
レーザー施設	SACLA		QST J-KAREN	・理科大 FEL-TUS ・京大化学研究所 T6-Laser ・京大 KU-FEL ・阪大レーザー科学研究所
イオンビーム施設		福井県 W-MAST	・JAEA 20MV タンデム加速器 ・QST TIARA ・理研 RIBF	・東北大高速中性子実験室 ・東北大臨界未満実験装置室 ・筑波大附属病院陽子線医学利用研究センター

				<ul style="list-style-type: none"> ・筑波大研究基盤総合センター応用加速器部門 ・東大重照射研究設備 HIT ・東大 MALT ・東工大ペレットロン ・阪大 RCNP 加速器施設 ・神戸大加速器・粒子線実験施設
その他電子線施設			QST HIMAC	<ul style="list-style-type: none"> ・東北大電子光理学研究センター ・東大原子力専攻電子ライナック ・KEK 低速陽電子実験施設 ・日大 LEBRA ・阪大産業科学研究所附属量子ビーム科学研究施設